

平成 31年  
4月7日執行

# 栃木県議会議員選挙選挙公報

小山市・野木町選挙区

栃木県選挙管理委員会

つなぐ **あなた** と県政 **つなぐ** 過去 と 現在 と 未来



自由民主党

いたばし 一好

昭和十五年十月十六日生（七十八歳）

## さらなる夢の総仕上げを 目指してがんばります!!

### 有言実行

#### 県南に人口50万人の中核都市を!!

これからますます厳しくなる地域間競争を勝ち抜く為には自治体の形成が必要で。

新4号線は、周辺地域へのアクセスをスムーズにし、私たちの暮らしや産業を支えます。

関係する皆さんと共に、新4号線の更なる準高速道路化を目指し県内の平面交差点を立体交差化し、都心及び周辺地域へのアクセスをスムーズにします。

#### エコ・ミュージアム（渡良瀬遊水地）

自然観察の場として小山市・野木町が進める観光水路・観察歩道・船着場等をつくりポートや水辺を利用して親子で楽しめる施設実現のために協力しております。

#### 新交通システム「LRT」の早期実現

「高岳専用引込線」を活用した次世代型路面電車（LRT）導入の仕上げに小山市・関係者と共に全力をつくします。

#### 乙女大橋と友沼橋の架け替えを!!

歩道を設置して、車道も拡幅して安心安全な道路の整備をします。

五十余年の経験と実績を生かし、人と企業を呼び込み、教育・福祉の充実をはかるため働かせて下さい。

#### 板橋一好 プロフィール

- ◎生年月日 昭和15年10月16日生 78歳
- ◎現住所 小山市大字小宅1624
- ◎学歴 県立宇都宮工業高校土木科・日本大学短期大学部工科学士専攻卒
- ◎経歴 栃木県議会議員 12期目（現）  
昭和46年4月～  
小山市議会議員1期  
栃木県議会副議長  
栃木県議会議長  
県出資法人あり方検討会 会長  
企業局事業等あり方検討会 会長  
行政機構調査特別委員会 委員長  
県功労者表彰  
全国都道府県議会議長会永年勤続功労者表彰  
小山青年会議所 初代理事長
- ◎役職 自由民主党栃木県連 副会長  
栃木県議会 会長  
NPO法人「明るい社会づくり」東地区会長



自由民主党

白石としたか

昭和五十年十月十一日生・四十三歳

### ごあいさつ

ご支援下さる多くの皆様に深く感謝申し上げます。政治家の役目は希望を持てる社会を作ること。人口減少、財政難、先行き不透明な社会にしたのは改革を避けてきた結果ではないでしょうか。

波風立てない現状維持は非常に楽です。しかし、ツケは将来に回されます。将来を決めるのは、今を生きる我々政治家、そして政治家を選ぶ有権者の皆様です。

政治は皆のものであり、権力者の道具ではありません。人には運不運があります。辛い立場にある人に光を向ける政治にしたい。ねたまず出る杭を伸ばしたい。

#### 自由と権利ありき

自由と権利ありきに偏らず義務と責任も重視した制度に変え、努力した人が報われる社会に変えたい。税金を浪費する制度は改めたい。国の指示待ちではなく、自らの郷土は自ら守る、地方の自主性と活力を阻害する国の画一的な制度を改めるよう、地方から国を変える気概を持った栃木を作りたい。

無所属では正論でも意見が反映されない中、結果を出すために自民党に入りました。野党に力がない以上政権政党として自民党の責任は非常に重いです。改革は反発を生み非常にエネルギーが必要です。

若手政治家として将来のために改革を先行できるような、どうか皆様のご支援を心よりお願い申し上げます。

#### 略歴

- 早稲田大学社会科学部卒業
- 代議士書生兼秘書
- 貿易商社起業（国際交流に従事）
- 曹洞宗大本山永平寺で1年間修行（僧籍有り）
- 小山市議選でトップ当選
- 栃木県議会議員2期（現在3期目の挑戦）
- 剣道場「練兵館」副館長 剣道錬士七段

## 49歳 国際派、議長の経験を「平成」の次へ



自由民主党

いがらし 清

昭和44年12月14日生（49歳）

いがらし清は、「実現します。」「前進させます。」

一今後4年間の「活動方針」一

### 未来を拓く 確かな力

当選後、スピード感を持って取り組みます!

- 外国人労働者受入れ拡大対策
- 自由貿易拡大・消費増税対策
- 気象災害・気象変動適応対策

今、栃木県は責任世代が当事者の意識を持って取り組まなければならない、新たな課題に直面しています。いがらし清の海外留学を果した情熱や48歳で議長就任という豊富な政治経験は、問題解決に大きな力を発揮するはずです。

#### 教育

- 少人数学級の拡充と国語教育の強化、基礎学力の向上
- 幼児教育の充実と「こころと創造性」を育む教育の推進

#### 医療

- 医療/介護/福祉の連携強化と医療現場における人材の確保
- 高齢者や障がいを持つ方々を支援する地域拠点の整備

#### 子育て

- 保育や学童クラブの拡充と子どもの居場所づくりの推進
- 親としての学びの場の充実と児童虐待の未然防止策の強化

#### 生活

- 災害に強い県土づくりの推進と地域公共交通ネットワークの充実
- LGBT支援条例の策定、消費者行政と女性活躍の推進、DV被害者の支援

#### 経済

- 「健康」「ロボット」など新産業の育成とニーズに即した産業団地の整備
- 事業承継や労働力不足への対応とAIやIoTなど最先端技術導入への支援

#### 農業

- 「担い手」団員への多角的支援と農産物輸出や地産地消の拡大
- 高温の常態化への対応や高付加価値化に資する新品種・新技術の開発

#### 環境

- 温暖化対策の推進とエネルギーの導入、森林整備と鳥獣害対策の強化
- 「環境産業」の育成と環境負荷の削減に向けた高度な循環型社会の構築

#### 治安

- 子ども/女性を対象の犯罪の抑止、地域コミュニティの防犯力の強化
- 警察官の増員と装備品の充実、暴力団や麻薬・薬物の取締りの強化

#### プロフィール

- 生年月日 昭和44年12月14日生（49歳）
- 住 所 小山市大字出井1859-50（桑中学校西側）
- 家族構成 妻、長女、次女、母、妹（6人家族）
- 学 歴  
●小一～小六、小山中、石橋高校を経て、ボンド大学経済学部経済学科を卒業  
●Bond University, School of Business, Major in Business Economics  
●早稲田大学大学院法政研究科で地方自治研究、環境政策研究（科目等履修生）
- 職 歴  
●左衛門丸薬院議員（元総務大臣）、茂木敏充衆議院議員（経済再生担当大臣）、岩崎純三参議院議員（元総務庁長官）の公設第一秘書などを10年間務める。
- 栃木県議会における役職  
●栃木県議会議員に33歳で初当選（連続4期）  
●文教警察委員会、生活保健福祉委員会、農土整備委員会、県政経委員委員長などを歴任  
●平成27年45歳で副議長に就任  
●平成30年49歳で副議長 第105代議長に就任（現期）
- その他の活動  
●栃木県ハンドボール協会（会長）  
●児童虐待防止団体「カンガルーおやま」  
●県南地区農業交流会「大馬会」  
●小山市フットサル協会（会長）  
●DV被害者支援団体「ライフ」

(この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま複製版によって印刷したものです。なお、掲載順はくじにより決定しています。)